

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2014年 10月3日(金)～7日(火)		
山名	北アルプス紅葉観賞(槍沢・涸沢・上高地)		
CL	花田	参加者	吉田

HP記載の有無：有

10/3(金) 曇り

19:00福岡空港⇒20:10中部セントレア空港⇒22:30名古屋バスセンター(夜行バス)
仕事を定時で終わらせて福岡空港からスターフライヤーに飛び乗る。
1時間ほどで名古屋に到着、夜行バスに揺られ、明朝目覚めたら上高地である。

10/4(土) 晴れ

5:20上高地バスセンター5:50⇒6:00河童橋⇒8:10徳澤園⇒9:20横尾大橋9:40⇒11:15槍沢
13:00⇒14:45天狗原分岐⇒15:30天狗池15:50⇒16:15天狗原分岐⇒18:00槍沢

まだ夜が明けぬ午前5時。ここは本当に上高地?という実感のないまま歩き始める。
梓川沿いを歩いていると、たくさんの方がワイワイおしゃべりしながら追い抜いて行く。
「今日は台風がきているから、みんな涸沢には来ないんじゃない?」
そんなことはなかった。涸沢の情報は大変な混雑が予想される。なんだか足取りが重くなってきた。
「やっぱり今日は涸沢から槍沢に変更しよう!」
横尾から槍沢方面に向かった途端、さっきまでの騒々しさから一転、静かな山歩きとなった。



横尾



槍



天狗原分岐から槍ヶ岳

上高地から槍沢を歩く時、おそらく目的は「槍ヶ岳」のことが多いだろう。
しかし今日は悪天候であり、ピークは目指さず紅葉を楽しむと決めたので、天狗原方面に向かう。
この時期のみ、天狗池という小さな池に槍ヶ岳が写し出されるというのだ。



天狗原分岐から槍ヶ岳



天狗池に写る槍ヶ岳

静かな槍沢の景色は、ときおりかかる白いガスのため、よりいっそう神秘的だった。
風もなく、池の水面が穏やかだったので、槍の影もごらんとおり。
しばらく時間を忘れて見ていた。
槍ヶ岳が「またおいで～」と言ってくれたように思えた。

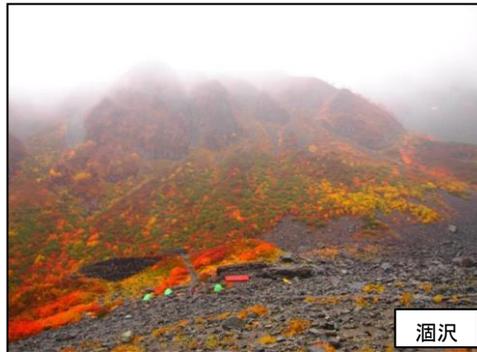
10/5(日) 曇り時々雨

槍沢6:30⇒8:25横尾大橋8:45⇒9:30本谷橋⇒11:00涸沢ヒュッテ⇒11:15涸沢小屋11:45
⇒14:20横尾大橋14:30⇒15:45徳澤

朝から台風情報を確認する。のろのろと沖縄あたりを北上している様子。
まだ雨は降っていないし風もない。「やっぱり涸沢にも行ってみようか！」



槍



涸沢



元谷橋

横尾まで戻ってきた頃から雨が降ってきた。
涸沢方面から続々と歩いてくる人の、僅かな隙間を見つけては逆走しなくてはならない。
「昨日の涸沢登山者 1000人はいましたよー！」
みんな満足げな笑顔で、賑やかにおしゃべりしていた。
昨日、静かな槍沢を選択したのは正解だったな～と思い、挨拶に疲れながら歩く。
本谷橋を渡った頃から、よりいっそう紅葉が美しくなってきた。
雨でしっかりと濡れた木々は本当に鮮やかである。なるほどこれがあの「涸沢の紅葉」なんだ！
涸沢ヒュッテからテント場を歩き、涸沢小屋に到着。温かいおでんとうどんをご馳走になる。
残念ながら視界は悪かったが、時々ふわっと見えた景色に思わず歓声！
涸沢は、紅葉のみならず穂高の山々とカール、涸沢ヒュッテ・テント場・涸沢小屋の雰囲気も素敵。
「70歳になっても、ここには来れるくらいでいたいね！頑張ろう！」
そんな事を話しながら急ぎ足で宿へ向かった。

10/6(月) 雨時々曇り <台風19号直撃>

徳澤園10:00⇒12:00明神池13:30⇒15:00上高地



明神池



ジャンダルム、奥穂高

10/7(火) 晴れ

上高地10:20⇒松本⇒名古屋セントレア空港
⇒18:10福岡空港



奥穂高

費用概算

(交通費)	福岡＝名古屋 飛行機 往復(SFJ)	20,820 円
	名古屋＝上高地 深夜バス	7,200 円
	上高地＝松本 電車+バス セット券	2,450 円
	松本＝名古屋駅 JR特急しなの(自由席)	5,510 円
	名古屋空港＝名古屋駅 往復(電車)	2,460 円
(宿泊費)	山小屋(3泊)	約30,000 円

(記 吉田)